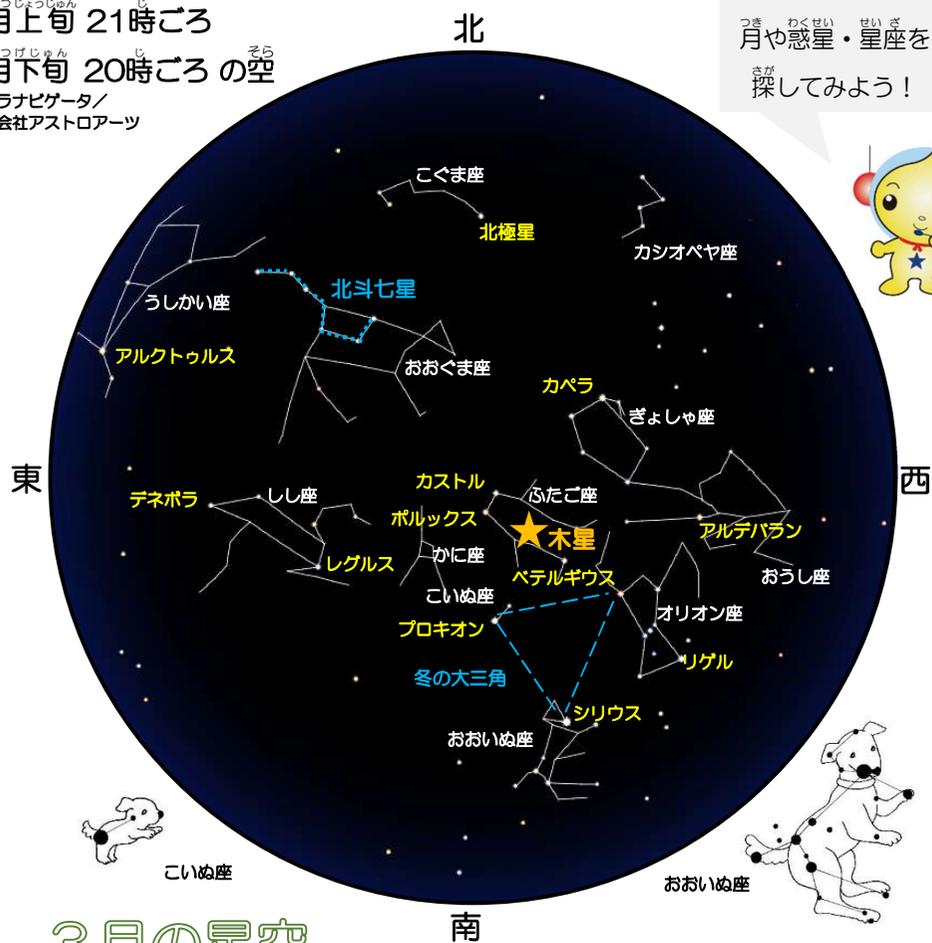


2026年 月刊 星空の散歩道 3月号

3月上旬 21時ごろ
3月下旬 20時ごろの空
ステラナビゲーター/
株式会社アストローツ



3月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西から南の空に冬の星座、東の空に春の星座が見える。

- < 西 > おうし座 (アルデバラン)、オリオン座 (ベテルギウス、リゲル)
- < 天頂 > ぎょしゃ座 (カペラ)、ふたご座 (カストル、ポルックス)
- < 南 > おおいぬ座 (シリウス)、こいぬ座 (プロキオン)
- < 東 > しし座 (レグルス、デネボラ)、うしかい座 (アルクトゥルス)
- < 北 > 北極星、カシオペア座、おおぐま座、こぐま座

☆天文トピック☆

3月3日 皆既月食

宵空で月が地球の影に全て隠されます。

18時50分 部分食始め

20時4分~21時4分 皆既食

22時18分 部分食終わり

詳しくは当館HP『2026年3月3日(火曜) 皆既月食を見よう!』をご覧ください。



3月20日 春分

太陽が春分点 (天の赤道と黄道の交点) を通過する日。

☆月の形の変化☆

- 3月3日 満月
- 3月11日 下弦
- 3月19日 新月
- 3月26日 上弦

☆3月の惑星☆

金星…日没後、西の空低く (下旬)

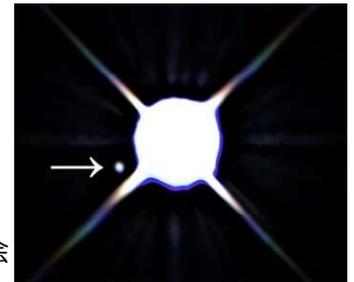
木星…日没後、南の空

<天文コラム>シリウスAとシリウスB

おおいぬ座のシリウスは、「焼き焦がすもの」という意味の言葉が語源となっているとおり、きらきら輝く、全天で最も明るく見える恒星です。シリウスはもともと太陽の約23倍の明るさがあることに加えて、地球から8.6光年と比較的近くにあることがその理由です。

シリウスは2つの恒星が重力によって引き合い、互いの周りを回る連星として知られています。明るく輝くシリウスA (以降A) とお供の星であるシリウスB (以降B) は明るさの差が大きく、また互いのすぐ近くを回りあっているため、2つの星を分離して観察することは簡単ではありません。AとBの距離が離れている時期が観察しやすく、2020~2026年はそのチャンスを迎えています。

公開天文台などの大きな望遠鏡をのぞく機会があれば、見られるかもしれませんね。



シリウスA (中央) とシリウスB →
画像提供: 阿南市科学センター

